

2023年度

特待入試 第3回
(思考力入試)

思考力

【注意事項】

- 1 問題は[1]です。
- 2 時間は50分です。
- 3 下敷きおよび電算機つきの時計の使用を禁止します。
- 4 解答は、濃くはっきりと書くようにして下さい。
- 5 開始の合図があるまで問題用紙を開かず、手を触れないで下さい。
- 6 試験中はよそ見をせず、きちんとした態度で行って下さい。
- 7 何か物を落としたら、黙って手をあげて下さい。
- 8 他の受験生に迷惑となるような行為をしないで下さい。



この試験では、開始約1分後に動画(約1分30秒間)が2回くり返し流れます。その内容をふまえて、問1に答えてください。

[1] 跡見学園中学校に進学したさくらさんは、通学に電車を使うようになりました。ふだんは通学定期を使っていますが、クラブ活動で定期券が通用しない区間を利用することになり、大人料金を払いました。小学生の時の倍の料金を払うことに驚いたさくらさんは、中学生の自分が大人として扱われることを不思議に思い、様々な施設における子どもと大人の区分について調べてみました。下の表は、さくらさんが調べた情報を表にまとめたものです。×は特に区分がないことを示しています。

施設	子ども1	子ども2	子ども3	大人1	大人2	大人3
電車・バス	6歳未満	小学生	×	中学生以上	【A】歳～69歳	70歳以上
遊園地A	3歳以下	4歳～11歳	12歳～17歳	18歳～64歳	×	65歳以上
遊園地B	6歳未満	【B】	中高生	18歳～59歳	×	60歳以上
博物館C	×	×	18歳未満 および高校生	【C】	18歳～69歳 (【C】を除く)	70歳以上
競馬	×	×	20歳未満	20歳以上	×	×

(電車・バスの大人2・3は一部の乗車券限定)

問1 表の空らん【A】・【B】・【C】に入れるのにふさわしい内容を動画の内容から判断し、解答らん
に書きなさい。

問2 次の項目のうち、上の表の説明として正しいものには○、正しくないものには×、どちらか不明なもの
には△を解答らん
に書きなさい。

- ア さくらさんは、全年齢を子どもと大人に分け、それぞれを3つに分けている。
- イ この区分では、どこにも当てはまらない人が出てきてしまう施設がある。
- ウ この区分では、2つの区分に当てはまる人が出てきてしまう施設がある。
- エ さくらさんが子ども3の区分に当てはまらないのは、電車・バスだけである。
- オ あなたは、遊園地Aでは、子ども3の区分に当てはまる。

さくらさんはこの結果から、子どもと大人の区分は、年齢や受けている教育段階によって区切られることが多いことに気づきました。さくらさんには、お姉さんのももこさんがいます。ももこさんは現在大学一年生で、昨年すでに新しい法律での成人(成年年齢)となりました。成年年齢は、一人前の能力を持つ大人であると法律的に認められている年齢です。これまで日本では20歳でしたが、18歳に引き下げられました。さくらさんが子どもと大人の区分について調べていることを知ると、ももこさんは高校生の時に勉強した次のような資料を見せてくれました。

〔18歳でできるようになったこと〕

- 選挙で投票すること
- 保護者の同意なしに結婚すること
- 消費者金融からお金を借りること
- 携帯電話を契約すること

〔今まで通り20歳からできること〕

- お酒を飲む・タバコを吸うこと
- 競馬などの公営ギャンブルでお金をかけること

問3 この資料にあげられている〔18歳でできるようになったこと〕のうちのひとつを取り上げ、それが18歳でできる理由を考えて説明しなさい。

問4 この資料によると、これまでと同じように20歳にならないとできないことがあります。このことについて、あなたの意見を理由とともに答えなさい。

さくらさんは、社会には、様々な子どもと大人の区分があることが分かりました。けれども、その基準がある理由をもっと深く考えたいと思いました。成人として興味を持ったももこさんも、一緒に調べてくれることになりました。そして、二人は〔あなたが思う「大人に必要な条件」とは?〕というアンケート結果を見つけることができました。

〔あなたが思う「大人に必要な条件」とは?〕

- 1位 常識・良識がある 82%＝ア
- 2位 自分の責任を自分で負える 80%＝イ
- 3位 他人や周囲に気づかいはできる 63%＝ウ
- 3位 精神的に自立している 63%＝エ
- 5位 経済的に自立している 61%＝オ

20歳以上の男女 14,573人（2018年4月花王『くらしの研究』サイト調べ）（複数回答／上位5項目）

問5 このアンケート結果を、解答らのマス目を使って、分かりやすいグラフに表しなさい（^{じょうぎ}定規を使う必要はありません。「大人に必要な条件」の内容は書かずに、ア～オの記号を用いなさい）。

二人は、このアンケートの条件の内容は数値などで表せるものではなく、人によってイメージするものが違うのではないかと思いました。そこで、これらの条件の内容について話し合い、考えてみることにしました。さくらさんは、5位のオ「経済的に自立している」という項目を見て、あるミュージシャンが「お金を自分で稼げるようになったら、大人だと思う」と言っていたことを思い出しましたが、納得できる気もするし、納得できない気もします。例えば、ももこさんは大学生でアルバイトをしています、ひと月に稼ぐのはおこづかい程度の金額です。

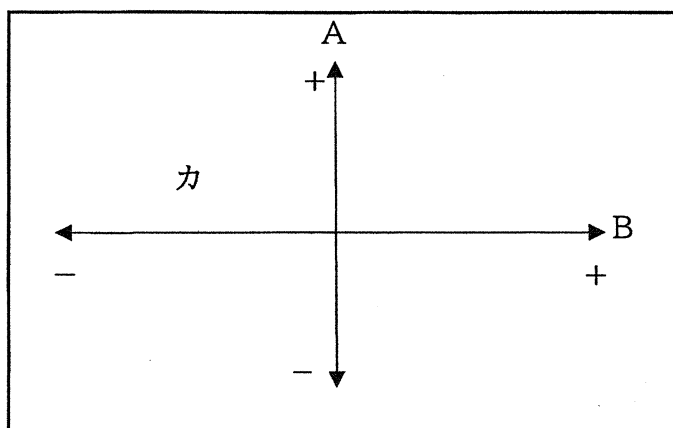
問6 「お金を稼ぐ」と「経済的に自立している」との関係性をふまえて、さくらさんがあるミュージシャンの言葉に納得できる気もするし、納得できない気もする理由を考えて説明しなさい。

このような調べ学習を通して、さくらさんとももこさんは、大人である条件を考えるときに、次の2つの視点から考えると良いのではないかと思いました。

- A 自分自身の成長・成熟に関係すること
- B 他者・社会との関わり方に関係すること

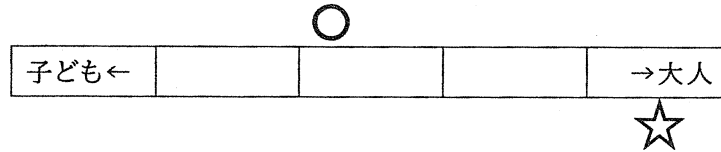
問7 二人の考えた2つの視点において、このアンケートの項目はそれぞれどのように分類できるでしょうか。ア～オの記号を用いて、解答らんの座標軸に位置づけしなさい。座標軸のタテ軸をA、ヨコ軸をBとします。Aの+・-は成長・成熟の度合いの高さ・低さを表します。Bの+・-は関わり方の深さ・浅さを表します。下の例には位置づけの仕方として、アンケートの記号にはない力が書き込んであります。まず座標軸を完成させ、さらにその特徴を説明しなさい。

例)



問8 跡見学園では、中学と高校6年間の在学中に、自分がなりたい大人のベースを自分の中に作ってほしいと考えています。あなたは今、どの程度自分を大人だと感じますか。解答らんを目盛りの上部に○印をつけて示しなさい。そして、18歳になった時にはどの程度大人と思えるようになりたいですか。目盛りの下部に☆印をつけて示しなさい。さらに、あなたが記した○印と☆印が一致していない場合は、○印と☆印の間はどのようになっているのか、そしてどうしたら☆印に近づくことができるのかを考えて説明しなさい。もし、○印と☆印がまったく一致している場合は、その理由を答えなさい。

例)



さくらさんは、これから大人になるための準備をしっかりとやろうと思いました。一方、ももこさんは法律では大人(成人)ですが、その自覚はあまりありません。友だちにも、大人だという自覚がある人はあまりいないようでした。そこで日本全体、あるいは他の国では自分と同じ18歳がどのように考えているのか調べてみました。すると、次のような資料を見つけました。

[18歳の若者意識調査 自分を大人だと思う人の割合]

国名	日本	インドネシア	韓国	中国	アメリカ	ドイツ
割合%	29.1	79.4	49.1	89.9	78.1	82.6
成年年齢	20*1	17	19	18	18*2	18

(日本財団「18歳意識調査 第20回 -社会や国に対する意識調査-」等による)

*1:調査当時の法律による。 *2:州によって異なる。

問9 この表を見て、あなたが考えたことをまとめて、箇条書きにして説明しなさい。なお、書き始めが分かるように、行の始めに・を打つこと。

